

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」学園だより

とう oun
稲雲

令和6年度 第17号

令和7年1月15日発行

発行者：校長 田中 朗裕



○2025年もよろしくお願いたします。

1月8日（水）に3学期の始業式を行いました。式辞では、副校長から、大谷選手が高校時代に語った言葉から、夢や希望をもって生活することの大切さ、そして、学習や自分自身を「振り返ること」の重要性について話をしました。代表の児童生徒からは、テストの見直しをすること、下級生に優しくすること、また、授業態度の改善や学級委員長としての決意などについて、力強い抱負が述べられました。

また、始業式後は、各担当の先生方からの「生活指導」や「インフルエンザ予防」の話なども真剣に聞くことができました。

3学期は、49日間（9年生は44日間）というとても短い学期になります。しかし、次の年度に向けて、しっかり準備をするととても大切な学期になります。今年度の自分自身の取り組みをしっかり振り返りながら、充実した日々を送ってほしいと願っています。

児童生徒が、事故なく冬休みを過ごせたことは、ご家庭や地域の皆様のおかげと感謝しております。休み中のご支援、ありがとうございました。



○「和楽器教室」が始まりました

本年度も、講師の先生をお招きし、これから1ヶ月の間で、5年生から8年生を対象に「和楽器教室」を実施します。授業では、箏や尺八、三絃などを体験し、日本の伝統的な音楽と楽器と触れ合う予定です。初日である1月10日（金）は、7年生で鑑賞を中心とした授業を行いました。児童生徒の中に毎年実施しているこの教室で学んできた積み重ねが活かされ、より深みのある学習につながると思います。これから先の授業もとても楽しみです。



○地域運営協議会お世話になりました

12月12日（木）に第3回の地域運営協議会を開催しました。出席いただいた委員の皆様から、学校や児童生徒に対する期待等、様々なご意見をいただきました。今回いただいたご意見を参考にしながら、次年度の教育課程の編成を行うとともに、「地域の皆様からの期待」として、児童生徒にも伝えていきたいと思ひます。



○地域で子どもを育む

12月16日(月)、本校会議室において学校保健委員会を開催しました。稲田学園と稲田幼稚園から、各種調査等の結果を報告した後、小グループで「家庭、地域、幼稚園、学校が連携したメディアコントロールの取組について」というテーマに基づいて協議を行いました。家庭でのルール作りへの支援、メディアコントロールの機会の設定等、幼稚園や学校が、家庭や地域と連携しながら、子どもたちの心身の健やかな成長のためにできることについて、活発な情報共有や話し合いが行われました。最後に、須賀川市教育委員会学校教育課指導主事の先生から指導助言もいただきました。

そして、今回の話し合いの中で、改めて「メディアコントロール」が、地域の子どもたちが抱える課題であることを確認することができました。そこで、この課題を解決するために、稲田幼稚園と稲田学園では、保護者の皆様に、冬休み中に「会津版スマホ・SNS検定」(会津教育事務所作成)に取り組んでいただくことにしました。幼稚園の保護者の皆様には情報提供というものでしたが、その内容は、大人も考えさせられるものになっており、冬休み前の児童生徒に対する「情報モラル」や「SNSとの関わり方」についての指導と併せて、実施していただくことで効果が上がることを期待してお願いしました。会津教育事務所のホームページにアクセスすると誰でも閲覧することができますので、興味がある方は是非ご覧になってください。

(会津教育事務所ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70410a/>)

資料の中にある「こんな親になりたい!めざせスマホ・SNS活用上級者」という部分を抜粋して掲載させていただきます。

- 子どものスマホを管理しています。
- 親もスマホを上手に使います。
- 親もスマホを使うことで生活習慣は乱しません。
- 親も趣味で自分を磨きます。
- 親もスマホに振り回されません。
- 子どもにだけルールを守ることを要求しません。
- 子どもとのコミュニケーションを大切にします。
- 子どもと一緒に〇〇します。

子どもたちの生活とSNSを切り離して考えることは不可能な時代であると言えます。だからこそ、家族で話し合いをしたり、ルールを決めたりすることが大切になるのではないかと思います。そして、時には「デジタルデトックス」として、スマホやインターネットとのつながりを遮断する時間を設けてみるのもよいのではないかと思います。

本校では、「情報モラル教育」を充実させるとともに、子どもたちの心身の健やかな成長につながるように、スマホやゲーム機等のデジタル機器やインターネット等のSNSとの関わり方についての教育をご家庭と協力しながら進めていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

随 想

「巳年」を迎えて

蛇は脱皮を繰り返して新たな姿に生まれ変わるため、昔から「再生」や「永遠」の象徴とされており、「巳年」は、新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年と解釈されているそうです。

そこで、私は、今年一年の目標として、「破」という漢字を選びました。よく「現状維持は衰退である」という言葉を耳にします。現状を維持することも十分大変なことであるため、現状がよければなおさら「今のままで…」という気持ちになりがちです。稲田学園の子どもたちは素直で真面目で、先生方も真剣に教育という仕事に向き合ってくれています。そして、地域や保護者の皆様からも大きな期待をいただいています。でも、だからこそ「挑戦」や「変化」を恐れてはいけなと思っています。自分の固定観念を打ち破り、少しずつでも、着実に前進できるような、そして新しい景色を見るために、様々なことに取り組んでいく1年にしたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。